

# 厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会（第15回）議事概要

日 時 平成31年3月7日（木） 午後2時00分～午後2時35分

場 所 厚木商工会議所1階 101会議室

出席者（出席委員数10名／委員数14名）

横田委員長、荒井委員、安本委員、濁川委員、座間委員、中島委員、池貝委員、  
岩崎委員、片桐委員、平田委員

事務局 厚木愛甲環境施設組合（事務局長、事務局次長他） 国際航業㈱

傍聴者 2名

## 1 開会

出席者数報告 委員10名出席

### 委員長挨拶

お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。本日は、報告事項として環境影響評価手続の状況について、ごみ中間処理施設に係る電力計画についての2件でございます。次に、案件といたしまして雨水計画についてご審議いただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## 2 報 告

### （1）環境影響評価手続の状況について

#### 事務局

報告資料1に基づき説明

#### 委員長

ただいまの報告についてご質問等ございましたらお出し願います。

#### 委員

今後の予定についての説明の中で、本年12月に予測評価書の公告縦覧があるということでした。また、それとほぼ同時に都市計画決定が終わるということでした。

たが、この時点で事業に着手する条件が整うと考えてよろしいでしょうか。

### **事務局**

予測評価書の公告とほぼ同時に都市計画決定の告示をいたしますので、その後  
に事業に着手することが可能となります。

### **委員長**

よろしいですか。

-----

ほかにないようでしたら環境影響評価手続の状況についての報告は、これで終  
わります。

## **(2) ごみ中間処理施設に係る電力計画について**

### **事務局**

報告資料2に基づき説明

### **委員長**

ただいまの報告についてご質問等ございましたらお出し願います。

### **委員**

当初から鉄塔を建てるということで計画が5年遅れたという経過がありますが、  
それがどのようになったのか伺います。

また、東京電力パワーグリッドと協議を進めているとのことでしたが、その内  
容は特別高圧による送電ではないということなのでしょうか。

### **事務局**

1点目の工期の関係ですが、現在進めている施設計画において精査した結果、  
本年12月に予定しております都市計画決定の後、用地買収や市道廃止等の手続き  
を経て、実際工事に着手できるのは最短で2年後の2021年9月を予定しておりま  
す。その後、事業区域全体の盛土や造成工事、外周道路工事等に時間を要します  
ので、全体の工期としては鉄塔の建設とは関係なく4年6か月を要することが分  
かりました。このため、鉄塔を建設しない場合でも2025年度、平成で言えば37  
年度の稼働を前倒しすることは困難な状況と考えますが、組合といたしましては  
1日でも早い稼働が可能なよう努力してまいります。

## 事務局

2つ目の質問の東京電力パワーグリッドとの協議内容に関連して特別高圧による送電ではないのかとの御質問にお答えします。

基本的に2,000 kwを超える電力を送る場合には特別高圧になるということです。この考えに基づいて海老名市側への送電を考えておりましたが、今回、海老名市側への送電ができないという結論に至ったことから、今後は、東京電力パワーグリッドとどの程度までの電力を送ることができるかの協議に入っていきます。

現在、厚木市環境センターの前まで来ている高圧線の引き直し等の改修工事を行った上で厚木市側への送電をするという協議をしまいでいます。

## 委員

2,000 kw を超えなければ特別高圧でなくてもよいということですか。

## 事務局

特別高圧と高圧の境界は2,000 kw であり、これを超える場合に特別高圧での送電ということになります。

現在、東京電力パワーグリッドとの協議の中では高圧配電線の一部引換が必要と聞いております。施設計画としては2,000 kw を超える電力を送り出すことができますので、可能な限り電力を送りたいと考えております。今後の協議結果については、内容が決まり次第、皆様に御報告したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 委員

工期について私から再度伺います。平成32年から37年に完成時期を延長する際に、それぞれの延びる要因について説明を受けました。この際に鉄塔に関しては、鉄塔を建てることになり、これによる延長期間は1年であるとの説明でした。以前の説明と今回の説明とは内容が整合しないので、地元の皆様の不信感につながるのではないかと心配しております。この点についてどのようにお考えでしょうか。

## 事務局

ただいまの御質問の内容は平成27年10月に建設部会の役員の皆様に建設スケジュールの変更について報告させていただいた件だと思います。その際の説明は、

平成 27 年度を予定していた環境アセスメント事業の着手が1年遅れるという報告をさせていただきました。また、都市計画法に関する手続に関しても環境アセスメント手続の関係で1年遅れるという報告をさせていただきました。更に、東京電力との関係で3年も延びるとの内容を含めて合計で5年遅れるという報告をさせていただきました。

まず、最初に環境アセスメント手続に関する説明をさせていただきます。平成 28 年 7 月、環境アセスメント支援業務委託の契約を締結し、平成 28 年 11 月に環境影響評価実施計画書を作成いたしました。この計画書に基づき、平成 29 年度に1年間をかけて環境の現状調査をいたしました。この調査結果をもって平成 30 年 10 月に環境影響評価書案を作成いたしました。この案作成までに3年がかっております。この環境影響評価書案が環境影響評価書になるまでに1年を要します。この時期は、都市計画の告示時期とほぼ同時期となり、本年 12 月ということになります。これをもって、ようやく建設予定地の用地の取得に入ることができますが、この用地買収事務には1年間の期間を要すると考えておりましたが、その後の市道廃止の事務に支障が生じるため、道路部に協力してもらい、この期間を短縮することとし、用地買収が全て完了した段階において市道の廃止の手続きをしてもらうという問題が1つあります。これらの事務事業に要する期間を約1年としており、この部分については以前皆様には御報告していない内容です。

まとめますと、環境アセスメント事業までで約2年、道路廃止手続で1年、合わせて3年ということになります。

次に、造成工事ですが、150年に1度という洪水に耐えるよう造成レベルの変更をいたしましたので、造成、周辺道路や水路の付け替え等を考えますと、4年半程度の工期を要すると見込まれます。このため、環境アセスメントまでで2年、市道の廃止で1年、建設工事の関係で約1年半延びて、当初予定の平成 32 年完成であったものを平成 37 年完成と見込んでおります。なお、鉄塔を建設しないとしたことによって既存高圧配電網の改修工事に要する期間によって完成時期が遅れるというようなことはないと考えております。

以上、よろしく願いいたします。

**委員**

資料には東京電力と東京電力パワーグリッドと2つ出てきますがそれぞれの関係について説明願います。

## **事務局**

以前は、東京電力が送配電事業と電力小売事業を行っておりましたが、平成28年4月のホールディングカンパニー制に伴い、電力小売事業を行う東京電力エナジーパートナーと送配電事業を行う東京電力パワーグリッドに分社されたものです。

## **委員長**

ほかになければ、本件はこれで終わります。次に、3の案件に移ります。(1) 施設計画(雨水計画)についてを議題といたします。事務局の説明を願います。

### **3 案件**

#### **(1) 施設計画(雨水計画)について**

## **事務局**

資料1に基づき説明

## **委員長**

ただいまの説明に対し、御質問等ございましたら、お出し願います。

## **委員**

開放型の貯留施設から地下貯留施設にする計画ということですが、地下貯留施設にしたことによって経費増が見込まれると思いますが、費用の検討はされておりますか。

## **事務局**

現在、地下貯留槽の製品としてコンクリートなどの物以外にプラスチック製の物が販売されています。これを用いることによってコスト削減が可能と考えております。また、当初から設置を考えていた側溝を透水性の物に変えることから、結果として費用はそれほど変わらないものと見込んでおります。

## **委員長**

プラスチック製の地下貯留槽は土圧に耐えることができるのでしょうか。

## **事務局**

最新の製品ではプラスチック製のものでも土圧に耐えることができます。

#### **事務局**

厚木市立病院の駐車場では、同様の雨水貯留槽を2槽設けて600 m<sup>3</sup>の貯留容量としておりまして、この貯留槽にプラスチックの製品を使っておりますが、現在でもアスファルトの沈下等の不具合は生じておりませんので、問題ないものと考えております。

#### **委員**

浸透施設については国土交通省が基準を定めて推進しておりますが、この基準に適合した構造で、公的機関の確認ができた施設になると考えてよろしいですか。

#### **事務局**

はい、それで結構です。

#### **委員長**

ほかにはないようですので、事務局説明のとおり雨水計画を決定してよろしいでしょうか。

#### **委員**

異議なし。

#### **委員長**

それでは、そのように決定いたします。

### **4 その他**

#### **委員長**

その他の件について、委員の皆様から何かございますか。

#### **委員**

現在、組合の構成市町村が集まる会議の中で将来ごみ量の検討を行っております。この結果をもって組合で施設規模を再検討する予定と聞いておりますが、このあたりのスケジュールについて、検討委員の皆様はご承知でないと思いますので、この点について説明をお願いいたします。

#### **事務局**

現計画では施設完成時の2025年（平成37年）のごみ量は、66,448トン／年と

見込んでおります。このごみ量から算出した施設規模は248トン/日で、これに災害廃棄物の処理量約10%を見込んで273トン/日としております。この計画作成当時である平成29年度の年間ごみ量は67,498トン/日であり、施設完成時期の平成37年までに約1,000トン減量すると考えていました。一方、ごみ量実績は、既に平成29年度のごみ量の0.5%程度が削減され、66,395トン/年となっています。このままの減少傾向が続けば2025年までにはもう少しごみ量が減少するのではないかと見込んでおります。

また、構成市町村ではごみの分別がかなり進んでおり、基準ごみの保有熱量が8,600KJ/kgであったものが、環境影響評価書案の値では7,800KJ/kgまで下がってきています。更に、今後、構成市町村のごみ量推計の見直しを行って、最終的なごみ量の確定がされるものと考えており、このごみ量の見直しに伴い、処理施設建物の面積も現在の1万2,000平方メートルを見直す必要があるとも考えております。その見直し時期ですが、平成31年度末に環境影響評価支援業務が完了し、これとほぼ同時期に都市計画決定が行われ、2021年度着工に向けて最終ごみ量の決定と施設規模の決定を平成31年度末までに進めていきたいと考えております。先ほど御説明したとおり、現段階で既に完成年度のごみ量推計値を下回った値となっておりますので、最終的には現施設規模の273トン/日を下回る結果となると考えております。

## **委員長**

計画ごみ量が下回り、発生熱量も下がるとなると、相当施設規模が小さくなるということですね。

## **事務局**

今後、様々な検討をした後、プラントメーカーのヒアリングを再度行い、施設規模を決定してまいります。現在計画している施設規模よりも若干下がるものと考えております。

## **委員長**

ほかになれば、その他を終了させていただきます。以上で、本日本日予定していた案件が終了しましたので、事務局にお返しします。

## **事務局次長**

委員長、ありがとうございました。ここで事務局長から御挨拶をさせていただきます。

### **事務局長**

今年度は、環境影響評価をはじめ、施設の具体的な検討を進めていただき誠にありがとうございました。今年度の検討委員会は、本日で終了となります。4月以降、選出母体の役職改選や人事異動等により委員の方が交代される可能性があるかと思いますが、本組合では引き続き環境や安全に配慮した施設となるよう検討を進めてまいりたいと思います。また、本日検討委員会にご出席をされていない4名の委員の皆様には本日の会議終了後、資料については郵送をさせていただくということでご了承いただきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

## **5 閉会**

### **事務局次長**

以上で第15回厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会を閉会とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。